



令和2年 養父市成人式



成人おめでとう



1月12日(日)、平成11年4月2日～平成12年4月1日生れの成人式が八鹿文化会館で挙行されました。対象者228人、内宿南出身者10人です。当日は曇り空でしたが新成人の皆さんは晴れ着に身を包み決意も新たに式に臨んでいました。

そうあんくんも、祝福のため一役買い、新成人を出迎え、記念写真等多くのカメラの中に納まっていました。成人されました皆様、ご家族の皆様、おめでとうございます。



営業開始

喫茶ひまわりの営業が1月16日(木)から始まりました。16日(木)20日(月)の2日間は新年営業開始のため、甘酒のふるまいがあり、多くのお客さまで、賑わいました。



肉まん作り



1月26日(日)、戦略的移住推進モデル事業の一環として、肉まん作りをふれあい倶楽部で行いました。約80人の参加があり、肉まん、チョコレートまん作りを体験、試食しました。肉まんは、豚・パンダ・象等の飾り付けを行い子供から大人まで賑やかに作りました。おいしく試食したのち記念写真に納まり楽しい時間となりました。





防災訓練

1月7日(火)、養父消防署の立ち入り検査を受けました。火災報知器の設置等の指導を受け、設置しました。また自主防災隊の防災訓練を実施するよう指導があり、3月1日(日)に実施します。



作品展 開催中



宿南こども園 4・5歳児作品展を、ただいま開催中です。子供達の作品を見に来てください。すごくおいしそうなロールケーキも展示してあります。



節分

2月2日(日)にすみれ会の皆さんが巻きずし作りをされました。今年の恵方は「西南西」でした。恵方を向いて無言で1本丸ごと食べると、その年は幸運に恵まれると言われていています。豆まきで、邪気払いをおこないました。



お知らせ

- 2月22日(土) 第15回ボウリング大会
- 2月23日(日) 川東区ふれあいミニディ
- 3月10日(火) 八鹿青溪中学校卒業証書授与式
- 3月19日(木) 宿南小学校卒業証書授与式
- 3月24日(火) 宿南小学校修了式

草庵先生紹介



日記 17



雪の日の朝の青谿書院への訪問者

宮崎和夫さん作

池田草庵の書「肄業餘稿」に草庵が青谿書院を訪れた人たちに心を痛める一節があった。「慶応2(1866)年冬11月12日、雪が降る寒空のなか、一婦人が子どもを背負い、夫と一緒に来た。その夫は失明し、生計を立てることができなくなっている。それで、人から食べ物を求めては日を過ごしている。妻が起きて、食べ物を手渡すと、背負われた子どもは大変喜び、夫婦もそろって拝むように何度も礼を言った。私はこのことを聞き、思わず悲しい思いで心が痛んだ」

日記のように日付と、その日ことが書かれているが、日記「山窓功課」の中にはなく、塾生たちに話したことをまとめた「肄業餘稿」の第300条に書かれている。ちなみにこの日の日記はつぎのように書かれている。「早起き。講義は『人譜』をする。検読は3人。午後、塾生に肄業をする(後略)」(慶応2<1866>年11月12日)

日記には朝、心を痛めた出来事について何も書かれていない。草庵の日記は、あくまでその日自分がどんなに努力したかなどを反省するために書いているのだから当然とも言える。

しかし、ここで草庵について考えるために、この日の朝の出来事を書いた「肄業餘稿」の中の続きの文章を紹介する。

「あの人たちは、雪の中を歩き、食べ物があるわけでもなく、家もない。手足は凍え、倒れてそのまま死んでしまうこともある。なんと言うことだ」

雪の中を、食べものを求めて歩く人に草庵は心を痛めている。そして、「私たちは、貧しさやひどい災難、肉体的精神的苦しみにある人のことを、察することができるような人になることが大切だ。それができるようになった上で、世の中のために大きな仕事をしなければならない」と結んでいる。

草庵の人柄や生き方を考える上で、多くの示唆を与えてくれる文章だ。

(提供 朝日新聞社)